

池坊文化講座「花と...」

各界の第一線でご活躍されている方々をお招きし、
花にまつわる講演をしていただくリレー形式の文化講座です。
前期5回、後期5回の計10回の講座を開催します。

後 期

- | | | | |
|------|----------------|--------|-------------------------|
| 第6回 | 2015年 10/28(水) | 花と茶道 | 町田 宗芳(今日庵業跡) |
| 第7回 | 11/25(水) | 花と日本の色 | 吉岡 幸雄(染織史家) |
| 第8回 | 12/ 9(水) | 花と和歌 | 三村 晃功(京都光華女子大学名誉教授・前学長) |
| 第9回 | 2016年 1/20(水) | 花を撮る | 木村 尚達(日本写真家協会会員) |
| 第10回 | 2/10(水) | 花と人 | 池坊 由紀(華道家元池坊 次期家元) |

(敬称略)

受講料	時 間
1回 1,000円(税込)※	18:00~19:30(各回)

※全5回(後期)一括申込みの場合、特別価格4,750円(税込)
(1回あたり950円)

■会場: 池坊短期大学
洗心館 地下1階 こころホール

■申込締切: 各開講日の3営業日前まで
(事前申込制)

池坊学園 エクステンション講座

いけばな・茶の湯・香道 講座開講中

 学校法人 池坊学園

〒600-8491 京都市下京区四条室町鶏鉾町

- 地下鉄烏丸線「四条」駅、阪急京都線「烏丸」駅(26番出口)から徒歩2分
- 市バス「四条烏丸」下車徒歩2分



資料請求
お問い合わせ・お申込み

TEL.075-351-8680

池坊学園 エクステンション事業部

<http://www.ikenobo-c.ac.jp/extension/>
ウェブサイト内の専用フォームからも資料請求やお問い合わせいただけます。

池坊文化講座「花と...」

後 期 講 座 詳 細

第6回 2015年 10/28(水) 花と茶道 町田 宗芳(今日庵業跡)

日本には四季があり、それぞれの季節に様々な花が咲きます。花は、それぞれの季節感を象徴する標です。茶道の教えの中にも、四規七則や利休百首、又、逸話等、沢山の花に関する言い伝えがあります。又、現に茶道に携わっている諸先輩方の、花に関しての想いも、私たちの心に響く話があります。お茶と花に関する、色々な考えをご紹介しますいい機会になればと思っています。

《講師紹介》

裏千家学園卒業。裏千家今日庵に入庵、西ドイツ出張員 ミュンヘン・ハンブルグ勤務。裏千家業跡として現在に至る。

第7回 2015年 11/25(水) 花と日本の色 吉岡 幸雄(染織史家)

「草木染」「植物染」という言葉があるように、私達の祖先は山に茂る樹木や野に咲く草花にひそむ色を汲み出して、自らの衣に彩りをつけてきました。それを表わすお手本となる色と形もまた、草花の盛りの美しさでした。

私どもの染色は化学染料が主流となった今でも古法にのっとり植物染にこだわって仕事をしております。時に咲く花を愛でながら、季節をとらえながら仕事をしていると申し上げてもよく、そうした日々的一端をお話申し上げたいと存じます。

《講師紹介》

染師・染織史家・「染司よしおか」五代当主。
1946年京都市生まれ。早稲田大学第一文学部卒。編集・広告の仕事を経て、88年生家である「染司よしおか」を継ぐ。植物・天然染料による染色を専らとして、日本の伝統色と染色の歴史を研究。古社寺の行事に関わり、国宝の復元に取り組む。2002年 東大寺大仏開眼1250年慶賀法要にあたり管長の紫衣、糞掃衣、開眼の縷等を制作。2008年には成田空港第二ターミナル到着ロビーのアートディレクターを務める。2010年に菊池寛賞、2012年にNHK放送文化賞をそれぞれ受賞。2011年吉岡幸雄と染司よしおかの情熱を追ったドキュメンタリー映画「紫」が完成。(企画制作 株式会社ATMK) 全国各地で上映が始まる。

第8回 2015年 12/9(水) 花と和歌 三村 晃功(京都光華女子大学名誉教授・前学長)

日本文学の流れのなかで、今日まで断絶しないで永続しているジャンルが、和歌であろう。本講座では、その和歌のうち、『古今集』から『新古今集』までの勅撰集歌を主要な出典にして、「一般に誤解されている花」「和名で『深見草』といわれる花」「うつろいの美の花」「具体名が特定できない花」の四種類の花を探りあげて、これらの花ばなが、どのように和歌の世界に貢献して、美的世界を構築しているかに視座を定めて追求するつもりである。ちなみに、これらの四種類の花が具体的に何を指すのかは、当日のお楽しみにしたいと思う。

《講師紹介》

1940年9月岡山県高梁市に生まれる。1965年3月大阪大学大学院修了。1986年4月花園大学教授。1990年4月京都光華女子大学教授。2003年4月京都光華女子大学学長。2011年4月京都光華女子大学名誉教授。

専攻 日本中世文学(室町時代の和歌)

学位 博士(文学・大阪大学)

著書に『古典和歌の文学空間—歌題と例歌(証歌)からの鳥瞰(スコプ)—』(平成24・7 新典社)、『古典和歌の時空間—「由緒ある歌」をめぐって—』(平成25・3 新典社)などがある。

第9回 2016年 1/20(水) 花を撮る 木村 尚達(日本写真家協会会員)

①講演者の自己紹介と作品紹介(スライドショー)

②写真の歴史と現状

③「花を撮る」意味と情操

④「花を撮る」技術的知識(パワーポイント)

《講師紹介》

(現在)公益法人 日本写真家協会会員・京都写真家協会会員・京都写真芸術家協会理事

1940年滋賀県大津市生まれ。1963年立命館大学法学部卒業。

1996年池坊専属写真家。1987年 第一回京都府現代写真作家展大賞受賞。2009年 神戸ビエンナーレ 大賞受賞。

個展「中東点描」シリアからヨルダンへ、「蓮、朽ちるとも」、「けなげに・しなやかに」東日本大震災復興祈念など。

出版物に「池坊専永宗匠作品集」「池坊由紀作品集」ほか日本華道社出版物、「市松人形」毎日新聞社、「みずの森の命たち」草津市立水生植物公園みずの森、「人形・黒田由美子作品集」淡交社、「天海祐希写真集」「真琴つばさ写真集」宝塚出版などがある。

第10回 2016年 2/10(水) 花と人 池坊 由紀(華道家元池坊 次期家元)

花にいき、花といきる人々。私は、これまで数多くの池坊人と出会い、自身の人生の道しるべとしてきました。

戦災でご両親を亡くされた方、結婚や子育て、あるいは介護をしながらいけばなを学ぶ方。様々な思いを抱えながら、皆、花にいきてこられました。

その方々との出会いと思い出に触れながら、華道という道の世界が持つ意味を共に考え、その魅力を感じていただければと思います。

《講師紹介》

小野妹子を道祖として仰ぎ、室町時代にその理念を確立させた華道家元池坊の次期家元。京都にある紫雲山頂法寺(六角堂)の副住職も務める。いのちをいかすという池坊いけばなの精神に基づく多彩な活動を展開。

また、アイスランド共和国名誉領事として両国の友好親善の促進に尽くす。2013年にはハーバード大学においてワークショップを、またニューヨーク国連本部において世界平和を祈念し献花を行なう。

(敬称略)

お申込み・お問い合わせ

学校法人 池坊学園 エクステンション事業部

〒600-8491 京都市下京区四条室町鶏鉾町

地下鉄烏丸線「四条」駅、阪急京都線「烏丸」駅(26番出口)から徒歩2分
市バス「四条烏丸」下車徒歩2分 ※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

TEL: 075-351-8680 mail: exten@ikenobo-c.ac.jp

http://www.ikenobo-c.ac.jp/extension/ FAX: 075-351-8606

